

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム FLAT I

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 6 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職場を良くする為には、まず職員を育てることであるが、考えや知識・経験の差がスムーズな介護を妨げている。	まずは年間計画で研修に参加したり、内部で何度も話し合うことを取り入れる。	毎月の職場会議、問題発生時の臨時会議、認知症研修への積極的参加、グループホーム同志の交流を図る。	12ヶ月
2	34	職員は急変に対する不安を常に抱えており、解消するためのマニュアル作りを必要とする。	医療関係者との連絡がスムーズに出来るよう準備する。	様々な場面を想定し、それぞれの対応を確認する。定期的にミーティングを行う。	12ヶ月
3	7	言葉の難しさを職員個々に感じている。	介護技術だけでなく、言葉にも尊厳を持たせる。	職員間で馴れ合いにならず、不合理な言葉には注意を促せるように声かけする。	12ヶ月
4	10	職員都合で入居者様に対応してしまうことも日々ある。	最期をFLAT I で過ごせて良かったと言ってもらえるようにする。	職員に担当する入居者様の話からご家族の話まで、どの様な関わりを今後して差し上げるかを深く追求する。	12ヶ月
5	2	まだまだ活発な地域交流が出来ていない。	学区の子供達との交流回数を増やす。	保育園～高校生まで、幅広い交流を定期的にしていく。	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。